

# この学校にわたしたち

2023. 11. 13

N044

## 言葉でしっかりと思いを伝えること…



「子どもたちが早口になってきているなあ」いつ頃から分かりませんがそう感じるようになってきました。Youtube の動画の長さは10分程度、ショート動画は6秒程度が視聴されやすく、それも視聴者は倍速にして視聴していると言われます。大人も子どもも忙しい時間を有効的に、価値的に生きようとする刹那的・合理的な風潮なのかもしれません。SNS の文章もどんどん短くなり、それに伴って会話も早口、短縮、単語…が当たり前となっています。かつて、ある

カウンセラーに自分の悩みを相談した際、何も問われず、間を作られたことがありました。おそらく何十秒という時間だったかもしれませんがその時の自分は非常に長く感じました。しかし、その何十秒かの間にいろいろなことを自分で考え、その後、そのカウンセラーに自分の思いを一気に吐き出すことができました。このようにコミュニケーションには単語で反応し合っているだけではなく、ゆっくりとしたスピードで話すことや、間を取るなど時として大切なスキルがあるように思います。

先日、訳あって1年生の算数の授業をしました。その時間の学習のめあては「計算の仕方を説明できる」としました。自分ができるだけなく、(ブロックを)操作しながら自分の考えを他の児童に説明することは学年があがるにつれてとても大切な力となります。このことはどの学年でも大切にしているところですが、1年生では特にこの半年、徹底的に子どもたちに“話す”“説明する”機会をこれまで多く取り入れてきましたのでしっかりと説明する力がついてきており驚かされました。

先日、本校を訪れた津市の教育長も「1年生すごく力がついてきていますね」と感心をされていました。最近、ある有名な講師の方から「人は知らない人には冷酷である。人と人が親密になるためには対話が必要である。」と聞かせていただきました。お互いのことを正しく理解し、ますます本当の友だちとなっていけますよう、これからも国語だけでなく、様々な機会を通して、コミュニケーション力の育成に努めていきたいと思っています。

